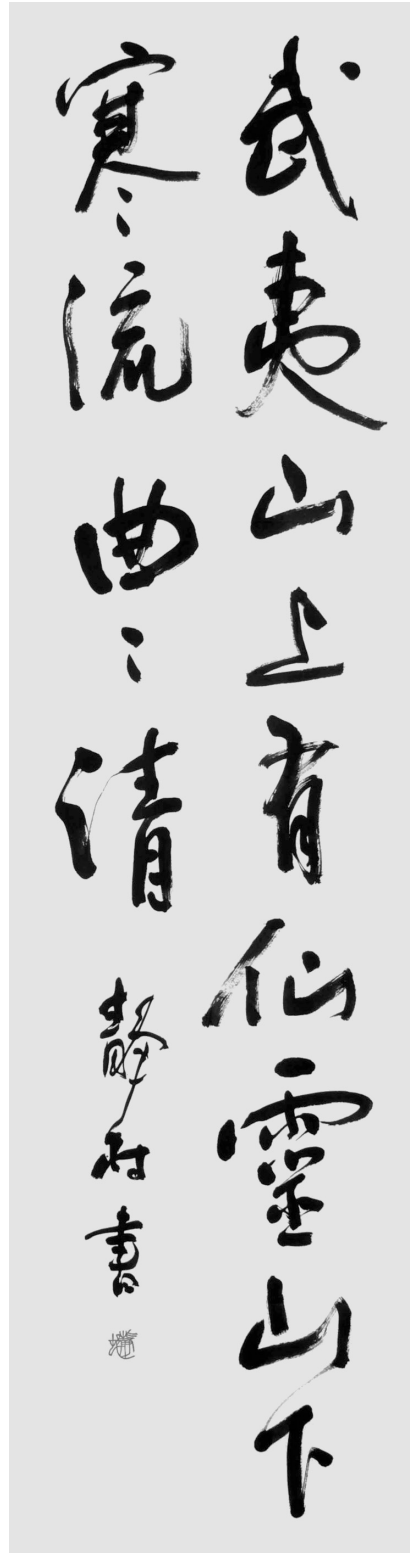


A

鈴木静村書

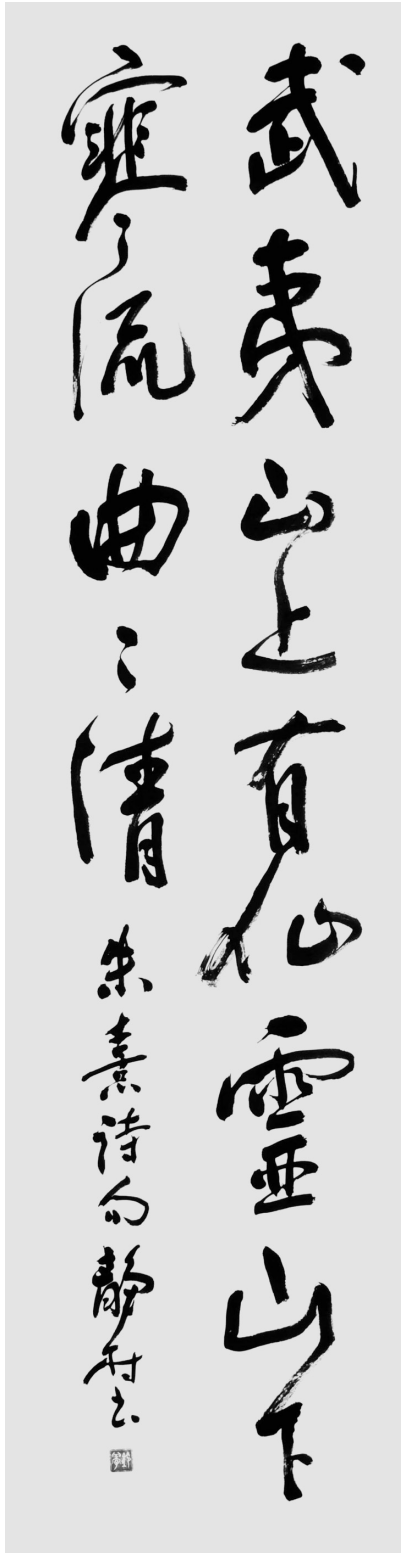
武夷山上有仙靈 山下寒流曲曲清(朱熹)
武夷山上仙靈有り 山下の寒流曲々清し。



B

概観

全体として画数の少ない字が多く、流れが平板に陥りやすい。この打開にはいろいろな書きぶりを導入する必要がある。その一つが「連綿」。単体の場合とは「表情」が違ってくるものである。作例ではBの「山上」、「有仙」等、これらの「表情」が作品として主要な要素。なお、Bは左行の余白を作者名を入れた落款で埋めた作例。



主な文字について

武 B一画目戈法を突き抜けた形。夷 戈法と左払いが生命。山 B山と連綿。A筆順相違。有 B連綿で仙に躍動感。靈 墨継ぎ。山下 A B連綿、連綿線太細に拘わりなし。寒 B連綿、寒字の中央を「非」は清代に見る。曲 墨継ぎ、B筆順、三画目ヨコ↓左タテへ。踊り字(々)の二点、味わいを。清 よく使われる。各自独創的表出を。

訳：風光明媚な武夷山の頂には山の神がまします、山の下を流れる冷たく澄みきった川は曲がりくねり清々しい。

予告 (六月二十二日締切)

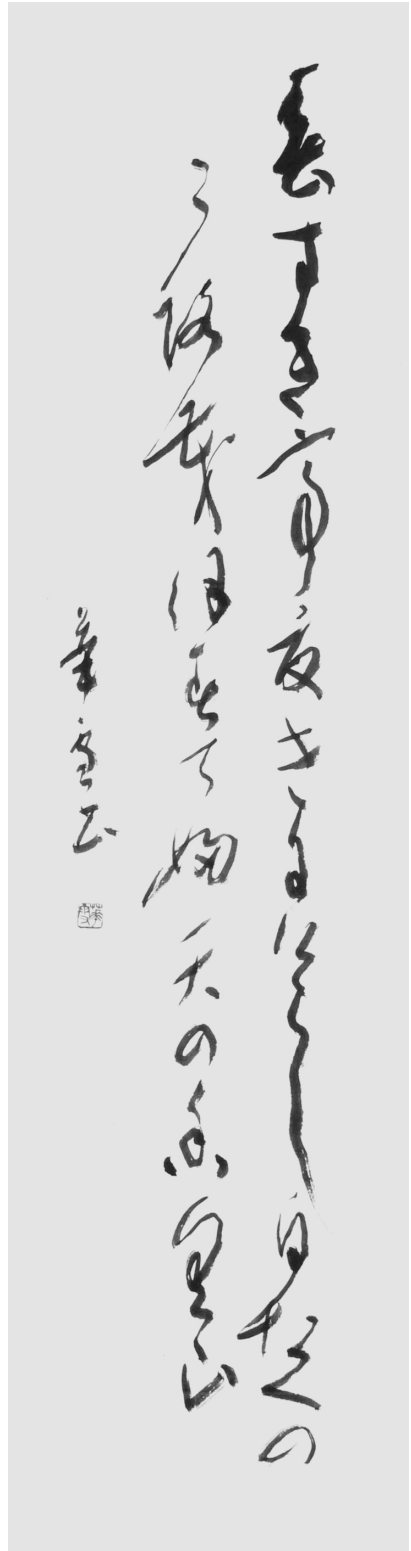
白日依山盡 黄河入海流 欲窮千里目 更上一层楼(王之涣)

- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品(バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料500円)

A

平岡華雪先生書

春すぎて夏にけらししろたへの衣ほすてふ天の香具山（新古今和歌集 持統天皇）
春すぎ亭夏き介らし白たへのこ路茂保春て婦天の香具山



B

北島菁丘先生書

春過支てなつ来尔けらし白妙のころも保春てふ天の可具山



学 び 方

今回も二行書きにしましたが、出だしは漢字二字を用いて放ち書きにし、二句目「なつ来に」で密に、「けらし」は自然に墨を落して仮名で連綿し、二行目は出だしに呼応させる様連綿を用い、単調にならぬ様「保」で懷を広げて巾の変化を出して結句で墨を入れて締めました。
全体に横と縦の動きで変化をつけ、文字の大小・潤濁の変化による響き合い、墨の強さを同じ箇所につくらない様にと心がけました。
持統天皇の歌は、夏の到来による白を印象的に涼しげに表現しており、「白妙」はコウゾなどの皮で織った真白な布のこと。「衣」にかかる枕詞です。

新古今和歌集は、鎌倉時代初期、後鳥羽上皇の勅命によって編まれた勅撰和歌集で、古今以下の伝統を継ぎ、独自の美世界をもつ。万葉集、古今集と並ぶ三大歌風の一つとされる。唯美的、情調的、絵画的などの特徴が挙げられ、鎌倉幕府成立以降政治の実権を奪われた貴族社会の衰退の中で滅びや自然の見方に哀調があると言われる。

予告

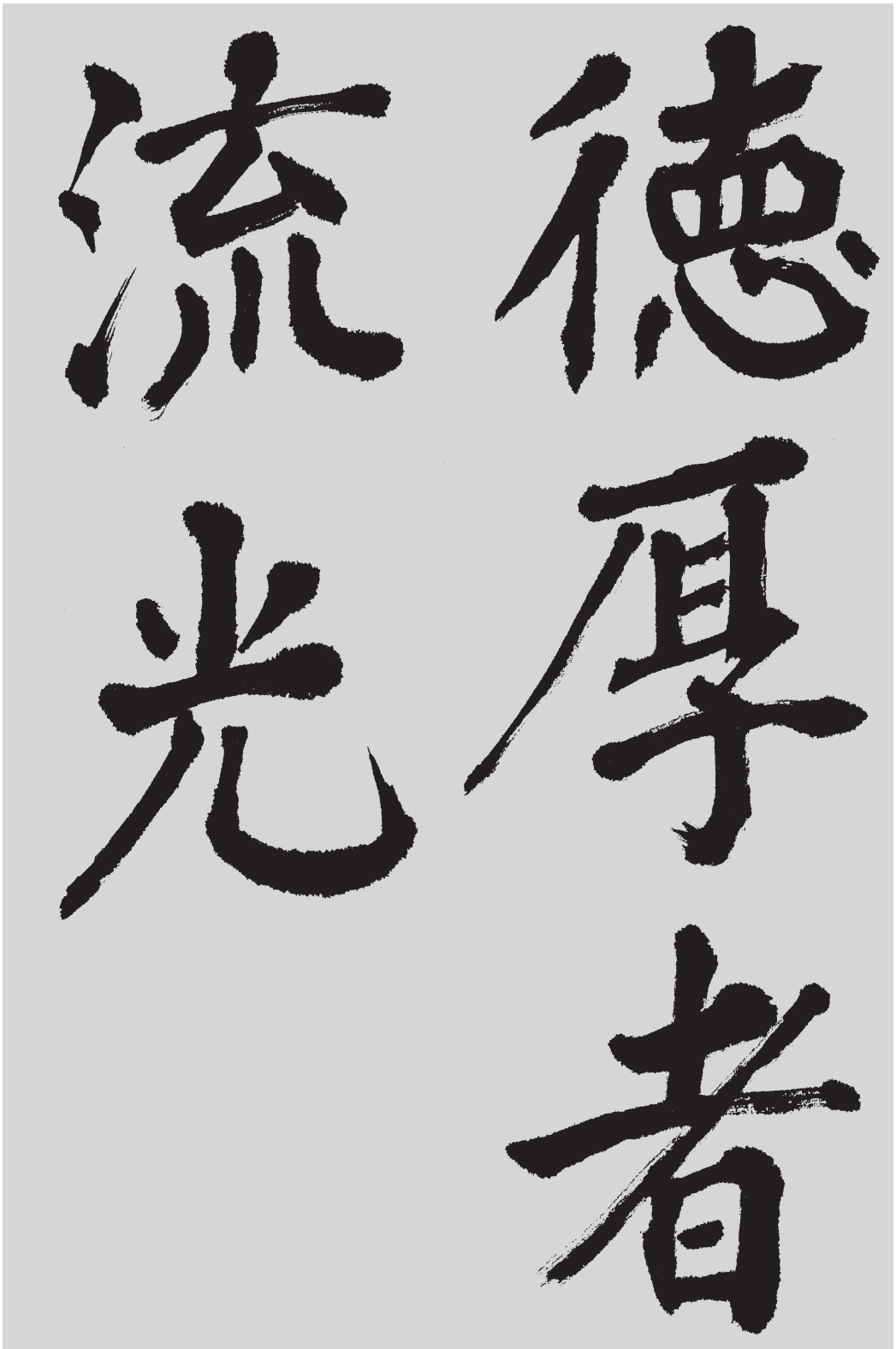
(六月二十二日締切)

中空に湧きつ、消ゆるちぎれ雲時の間ながら照りてただよふ(若山喜志子)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条かを○で囲み（1）と記入する。）
- ・二枚目からの出品（バーコード券の条かを○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料500円）

平岡華雪先生書

徳厚き者は光を流す(穀梁)

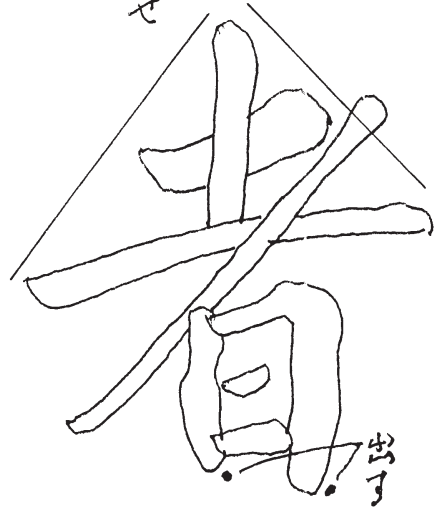
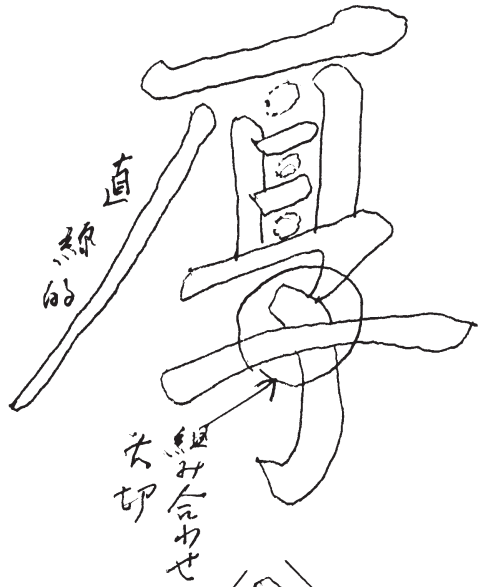
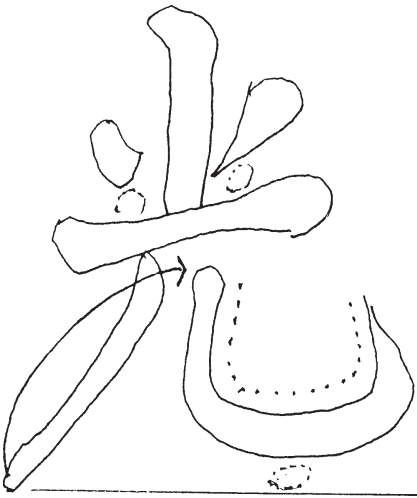
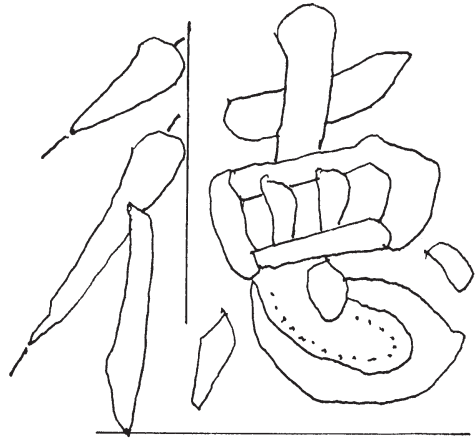
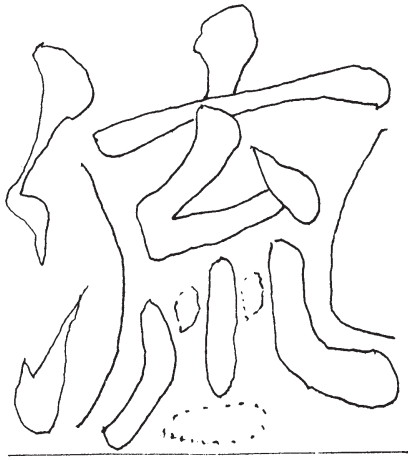


訳：徳あるものは自然にその人物が世に知られる。

▼注意……はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。

- ①漢字部
- ②支部名または都道府県名
- ③氏名または雅号
- ④新

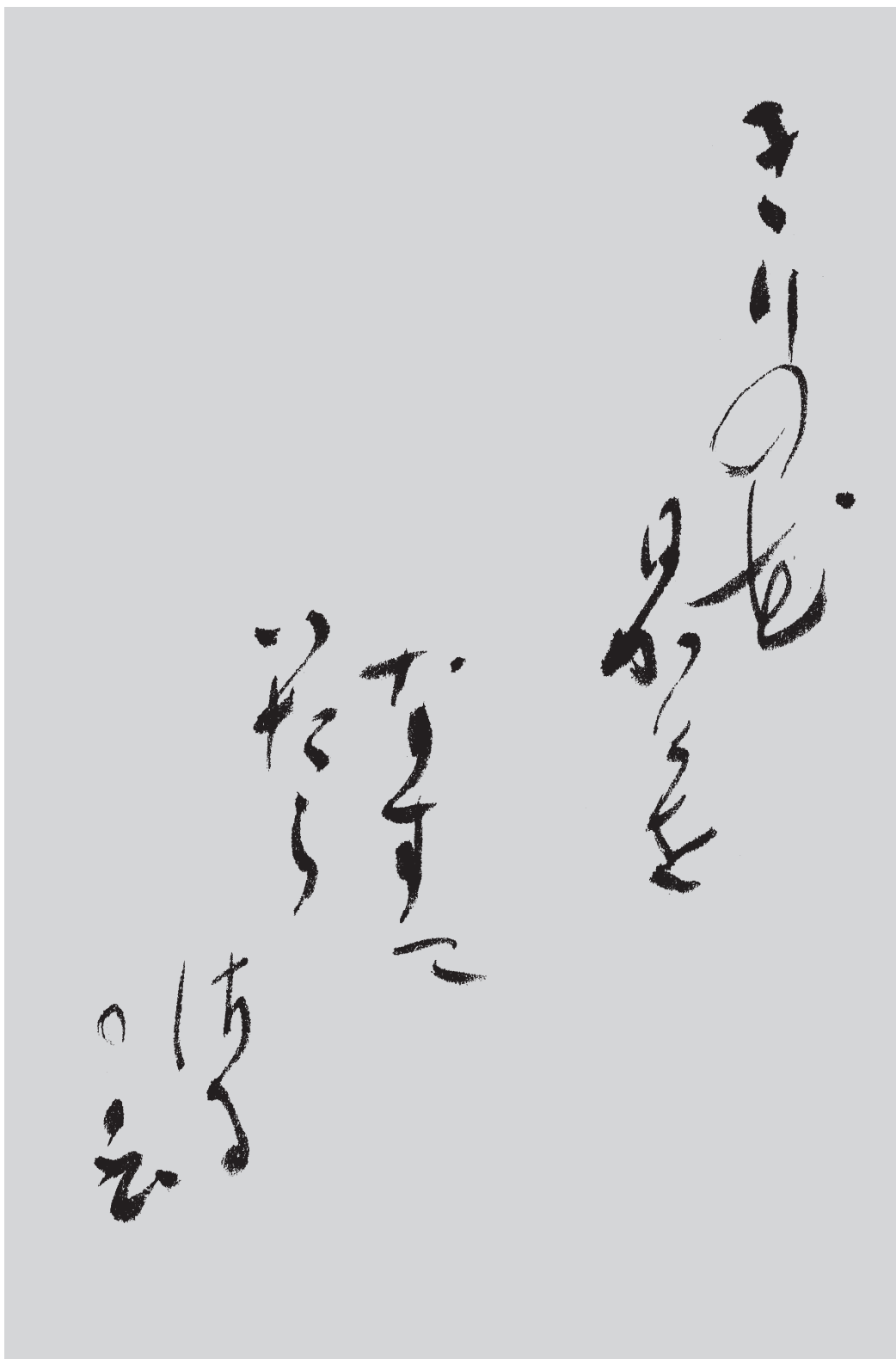
会員は無料、会員外出品料は四〇〇円。



左払いの勁さー
 左払いの画の長短、太細、
 方向の差はあるが、その用筆は
 左下へ引く逆筆的の勁
 い線の表出、この手法が解
 らないと「左払い」の勁果は低
 い。太い妙趣に迫るほい。

平岡華雪先生書

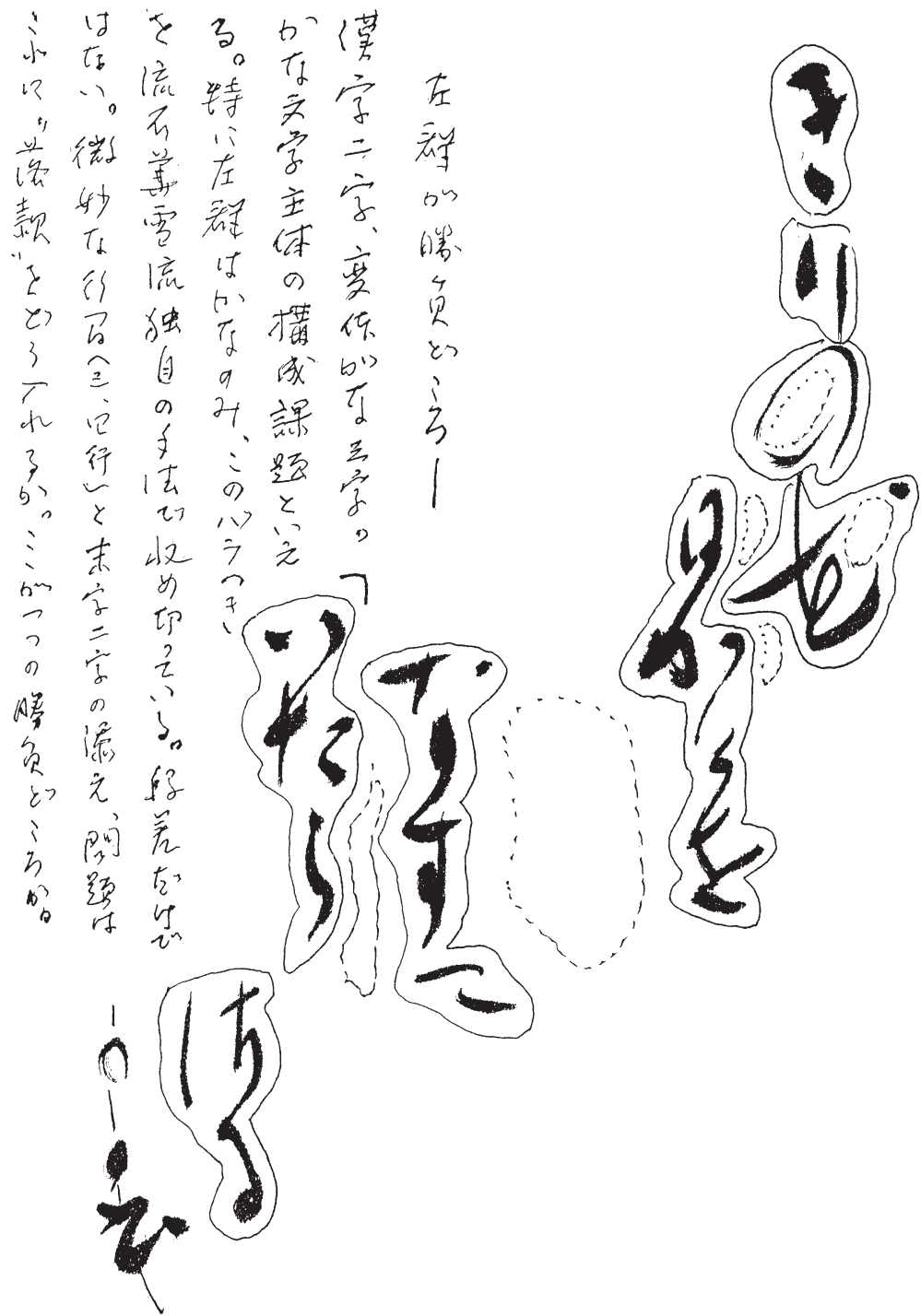
桐の花日かげをなすに至らざる(虚子)



▼注意……はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。

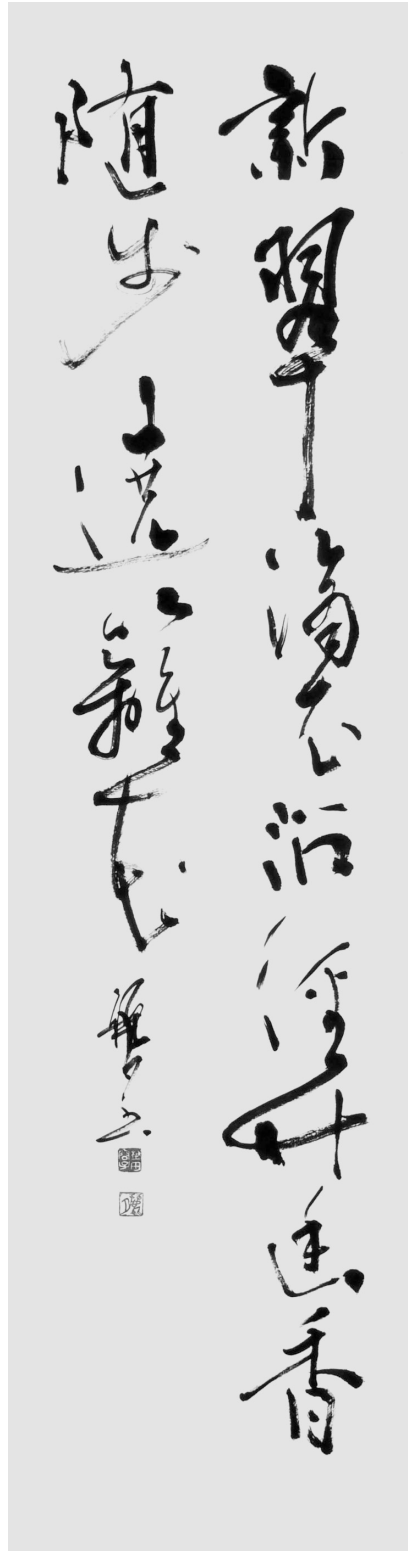
- ① かな部
- ② 支部名または都道府県名
- ③ 氏名または雅号
- ④ 新

会員は無料、会員外出品料は四〇〇円。



野田麗夕先生書

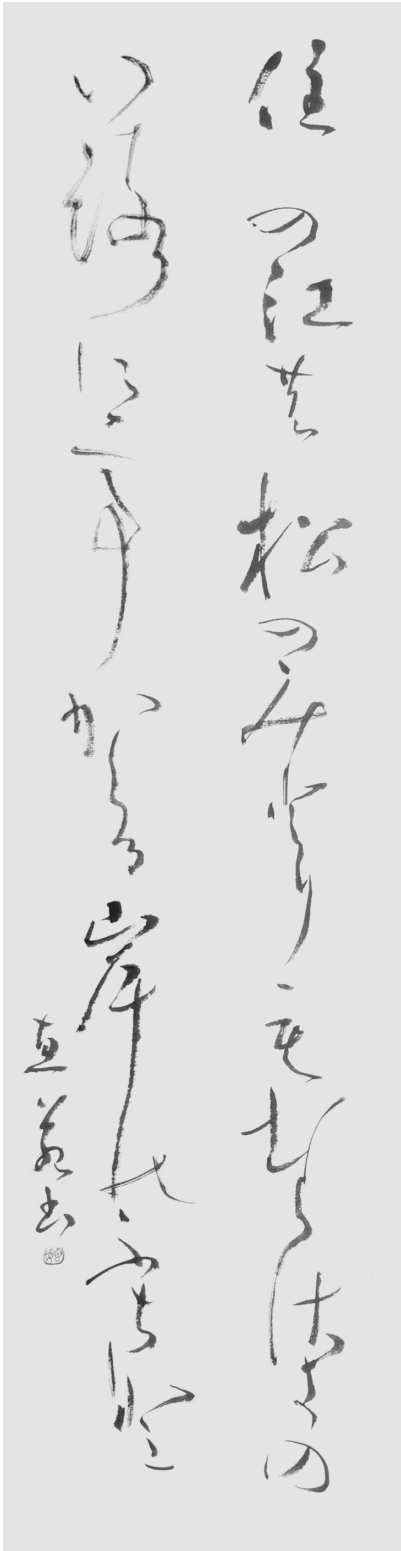
新翠滴衣沿徑竹 幽香隨步遠籬花（張松霞）
 新翠衣に滴る徑に沿うの竹、幽香歩に隨う籬を遠るの花。



訳：新しいみどりが衣に流れるのは竹のこみちを通るからである。なんとなき香りが歩むに連れて感じられるのは花ある垣根にそうからである。

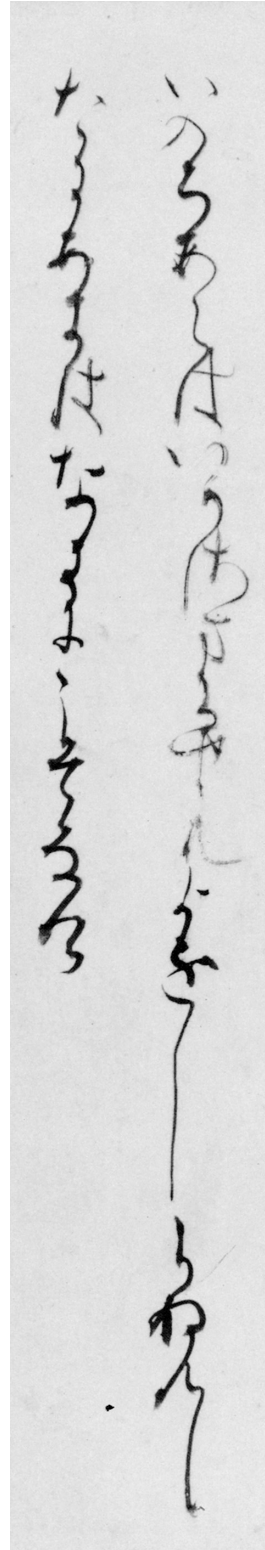
長澤恵苑先生書

すみの江の松のみどりも 紫の色にてかくる岸のふちなみ（後拾遺和歌集 読人しらず）
 住の江農松のみ登り毛むら佐支のい路に亭か久る岸能ふち那三



- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料500円）

石原春香先生担当 和泉式部続集切 伝 藤原行成（日本書学大系・法書篇） ※条幅臨書部は出品料無料です。



中心移動連綿法

横画をえぐる様に



いのかさまにせん
よをしらぬむしだにあきはな
きにこそなけ
いのかさまにせん
よをしらぬむしだにあきはな
支尔こそ奈介

△学び方▽

「いのかさまにせん」「いのかさまにせん」は中心移動連綿法。(一・二・三字目の文字中心を右へ移動しながら連綿する)

二本の「し」の表現は違います。

一行目の「あらは」と二行目の「あきは」は同じ文字がなりましたが細・太形の違いが見事です。墨つぎは、「い」細く「よを」「なきに」です。初句は墨量をしばって書き出し「よを」は筆圧をつけて。

△連綿▽

かな作品の美しさを表現するのに連綿は欠かせません。

・基本連綿法Ⅱ上の文字の真下に次の文字の中心がくる。



・中心移動連綿法Ⅱ連綿する文字の中心を右や左に移動する連綿法。



・長短連綿法Ⅱ下の文字を左右へ寄せたり、字間を広くとりながら連綿する法。



(次回につづく)

水 貝 潮 華 先 生 書

平生好疎曠（岑參）
平生疎曠を好む。

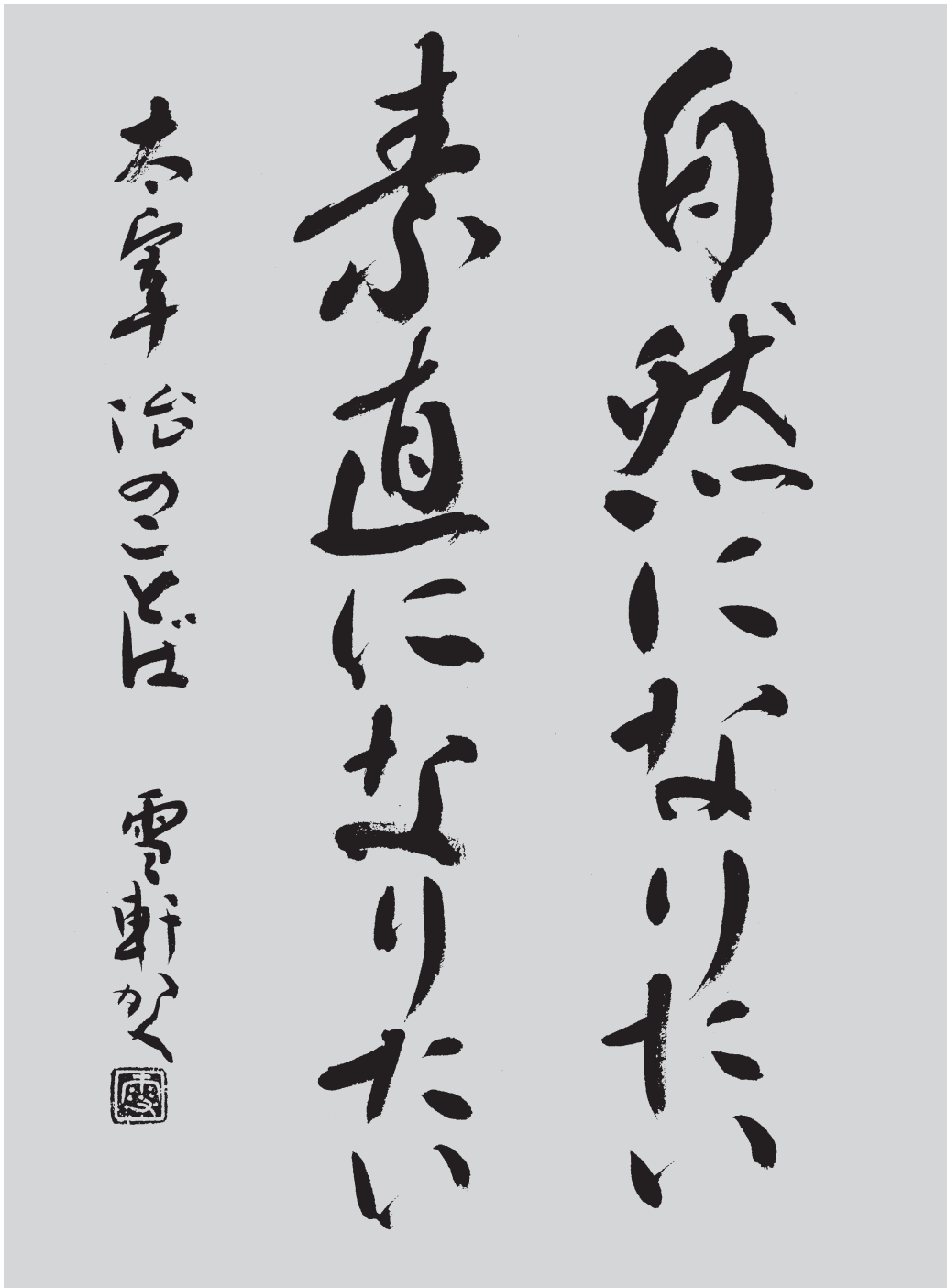


訳…つねづねおろそかで世に遠ざかることを好む。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は400円。

遠山雪軒先生書

自然になりたい、素直になりたい。(大宰治)



◆随意部参考として出品してください。

戸張丘邨先生書

身閑詩有味 水靜月無波（薛師石）
身閑に詩に味有り、水靜に月に波無し。

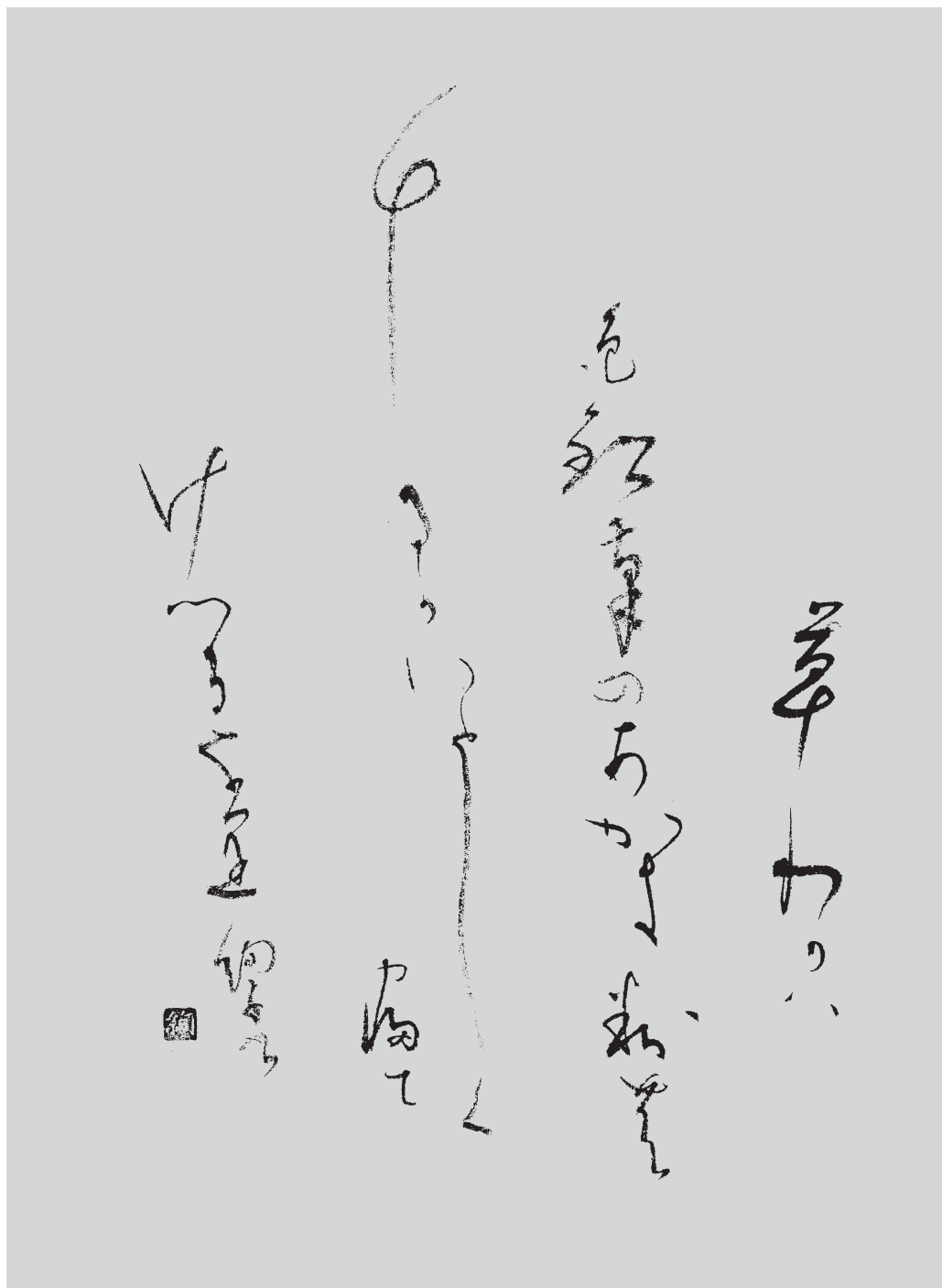


訳…身静閑であって詩に初めて妙美が生じる。水は静かに流れてそこで月光は碎けない。

添削又は手本希望者は本会規定により、戸張丘邨先生（〒338-0832 さいたま市桜区西堀 9-20-10-401）に直接お申し込みください。

宮
絢
子
先
生
書

草^{くさ}わ^わか^かば^ば色^{いろ}鉛^{えん}筆^{びつ}の^の赤^{あか}き^き粉^{こな}の^のち^ちる^るが^がい^いと^としく^{しく}寝^ねて^て削^ける^るな^なり^り（北^{ほく}原^{げん}白^{はく}秋^{しゅう}）
草^{くさ}わ^わ可^か八^{はち}色^{いろ}鉛^{えん}筆^{びつ}の^のあ^あか^か支^し粉^{こな}農^{のう}干^{かん}る^る可^かい^いと^としく^{しく}寝^ねて^てけ^けつ^つる^る奈^な里^り

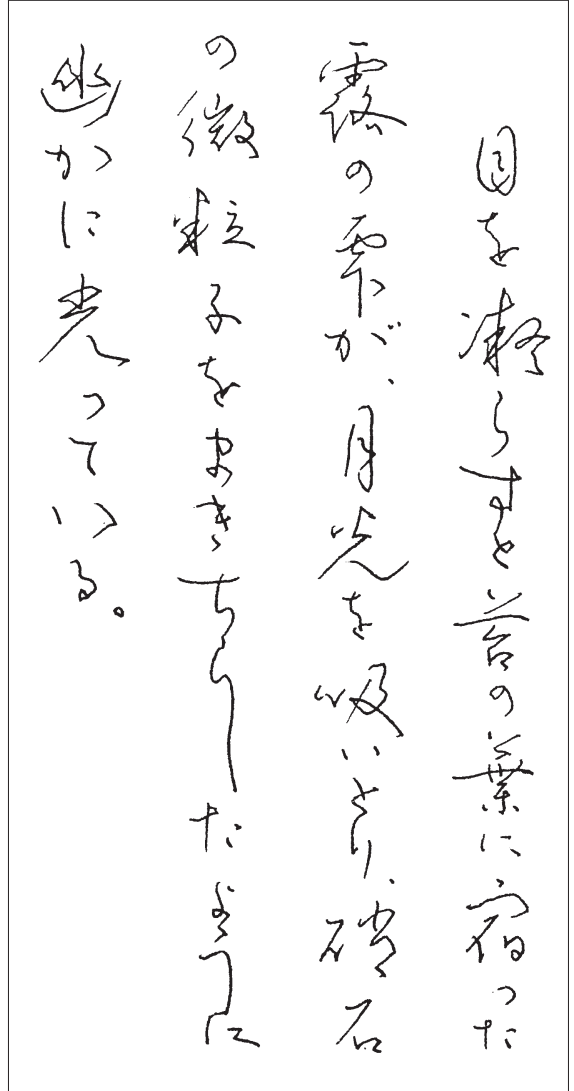
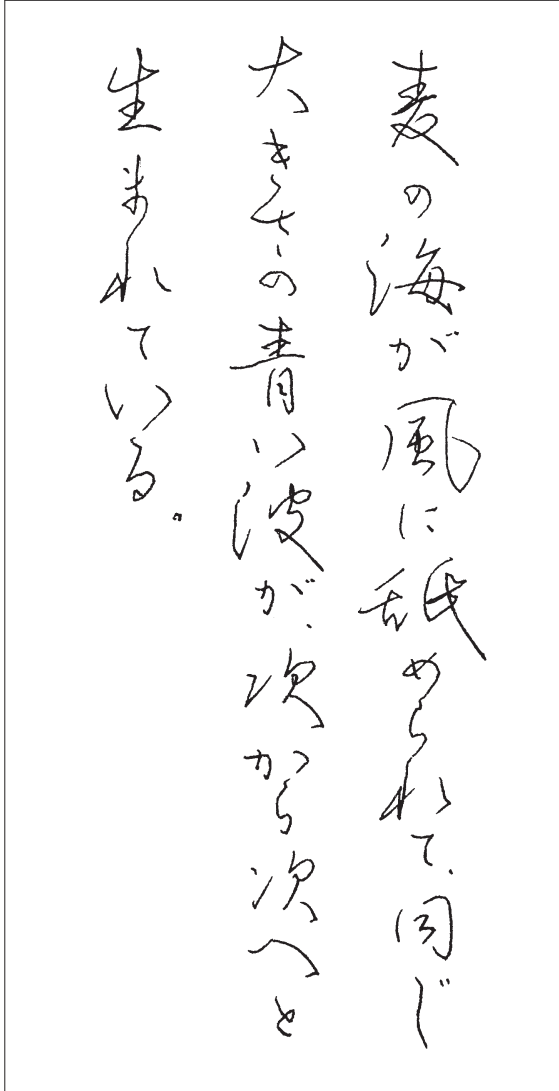


添削又は手本希望者は本会規定により、宮 絢子先生（〒177-0031 練馬区三原台 2-8-6）に
直接お申し込みください。

喜多波竹先生書

課題 2 (初段階以下)

課題 1 (初段階以上)



課題 1 (初段階以上)

目を凝らすと苔の葉に宿った露の糸が、月光を吸いとり、硝石の微粒子をまきちらしたように幽かに光っている。〔草宴〕瀬戸内晴美

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (2) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (3) 会員は無料・会員外は四〇〇円
- (4) 添削希望者は直接担当の先生にお申込下さい。(返信用封筒に自分の住所・氏名を記入し、切手を貼って同封のこと。)
- (5) 課題 1 六〇〇円
- (6) 課題 2 三〇〇円

課題 1 喜多波竹先生
〒二四〇一〇〇六一

横浜市保土ヶ谷区岡沢町
二一九ノ三

課題 2 (初段階以下)

麦の海が風に舐められて、同じ大きさの青い波が、次から次へと生まれている。

〔寒雷のように〕高樹のぶ子

※昇試は六月締切に変更します。